

地球の
「混沌と八方塞がり」は
天上界による浄化作用だった。

河合勝

「地球家族代表」

ユートピア社会の建設のために
邪魔になるもの、必要のないものが刈り取られ、消滅して行く！
神々が舞い降りる聖なる日本列島で今起きてること



ヒカルランド

天変地異が起こるメカニズムは、

人々の吐く波動の荒い息にあることを

人々は知らないのです！

輪廻転生の回数が

世界の民族の中で

一番多いのが日本人、

だから天上界は

この国に特別の想いと仕掛けを

施しているのです！

天上界が地球に派遣した

特別に意識の高い人

1600人のうち692人が

この日本に

派遣されているのです！

カバーデザイン 櫻井浩(ⒺDesign)
校正 麦秋アートセンター

本文仮名書体 文麗仮名(キャップス)

第1章

天の原因の世界と、地の結果の世界、
この表と裏がついに一体となります！

9

第2章

天上界は永い年月をかけて、人類を導いて来て、
今がまさにそのときなのです！

11

第3章

創造主はシャンバラの世界から
人類を覚醒へと動かしている！

15

第4章

ムー、レムリア、アトランティス、3回の大陸沈没と
人類の精神と歴史の形成

28

第5章 シャンバラ世界の指導者、地球へ派遣される！

36

第6章 モーゼ、イエスが学んだ宇宙の法則とは何か

47

第7章 皇室の三種の神器は
宇宙を支配する宇宙の法則に由来している

56

第8章 宇宙科学（天）と現代科学（地）の根本的な違い

62

第9章 天界が明かす未来……
「ユートピア社会」がまもなく実現する！

75

第10章

シャンバラの世界とユダヤ民族と日本民族の共同作業で
聖なる地球作りが実行される！

82

第11章

日本で開催されているシャンバラの会議の様相

106

第12章

七福神とはシャンバラの世界から派遣された
人類の指導者のこと

115

第13章

超高級意識体の光のシャワーで祝福を受けよう

119

第14章

火祭りとは、チャクラが開くことを意味している

125

終 章

ユートピア社会建設のメンバーに
なれる人々、なれない人々……

第1章

天の原因の世界と、地の結果の世界、
この表と裏がついに一体となります！

天と地という2極が1つに完全調和し、1極になる時代が来ました。

地球から国境がなくなり、ワンワールドになります。

戦争がなくなり、難民問題が解決します。

宗教も科学も思想も絶対なる法則——宇宙の法則のもと1つにまとまります。

争いがなくなり、ユートピア社会が実現します。

これが原因を形成する天上界のプログラムです。

地上界は結果が顕現^{けんげん}する世界ですからまもなくユートピア社会が実現することになるのです。

A D 2 0 2 0 年 从 い よ い よ ユー ト ピ ア 社 会 の 建 設 が ス タ ー ト し ま す 。

第2章

天上界は永い年月をかけて、人類を導いて来て、
今がまさにそのときなのです！

歴史は天上界の主導によって、人間が作り上げるものです。

人類の進化をプログラムしたのは天上界で、そのために人間の指導者を必要に応じて地球に派遣して来たのです。世界の歴史を指導して来たとも言えます。

天上界は全智全能の智慧の世界です。

人間の知識、常識は物質から得ているものです。それはエントロピーの働く、始めと終りのある一過性の物質から得ているのです。消え去るものから得ているのでこれは偽物の世界です。

ですから知識はアノ世へは持ち帰れないことになります。

一方で智恵は蓄積できてアノ世へ持ち帰れるものです。

智恵は直観、啓示、閃き、内から湧くもの。

知識は外から得るもの。

そしてこれからは智恵の時代に入ります。

人間の概念と宗教が神を勝手に捏造^{ねつぞう}して来たのです。現行の宗教は教祖の説いた本来の意味を理解していないことになります。文字の遊び、空念仏^{からねんぶつ}に止まっている状態なのです。

神とは原子と電子（エネルギー、生命と質量、肉体）に働く法則のことです。

科学そのものであり、現実そのもの。この神を、宇宙の法則を理解し、実践する時代にいよいよ入ったのです。

日本民族が世界のリーダーとなる。その時、本来のユダヤ民族が日本民族を支援する。そのような時代に入ったのです。日本とユダヤはコインの裏と表の関係にあるのです。

日本に伝承されるカゴメの唄の本当の意味が明かされる時代になりました。

地球に今起きている一切の事象、一切の出来事は、100%宇宙の法則に従って発生しているものです。1人1人の毎日の生活に発生することも同じです。

そして宇宙の法則を実行させる天上界の会議体が存在しています。それをシャンバラの会議と言います。

宇宙の法則と天上界シャンバラの会議体が考えている内容と、人類進化のプログラムを知ると、未来は予知できるのです。

2020年からユートピア社会の建設がスタートします。それはgive & give、奉仕が当り前の世界。共存共栄、助け合い分かち合いの世界です。

ユートピア社会の設計図は実はずっと以前から完成しているのです。その設計図によるユートピア社会の建設に邪魔になるもの、必要のないものが刈り取られることになっています。消えてゆくのです。創造のためには破壊が必要となる。破壊と創造は表裏一体です。天上界の人類指導の最高の会議体がこのことを管理している。地球で発生する一切の事象を100%コントロールしているのです。

天変地異、異常気象、事故、災難、人間1人1人の日常生活に起きること一切、

人類の進化とそれにともなう歴史の実行です。人間個人の、集団の、国家の、民族のカルマの刈り取りと進化をプログラムして、実行しているのです。

このことを理解している人の割合は、1000人中1人しかいません。

第3章

創造主はシャンバラの世界から
人類を覚醒へと動かしている！

シャンバラの世界は、必要に応じて人類の指導者を地球に派遣してきたのです。その指導者とは過去に人間としての生活を送り悟りに到った覚者たちです。この方たちはテレパシー（以心伝心）ができるので、全智全能のアカシックレコードから瞬時に本物の情報を引き出すことができます。

創造主とは全智全能の知恵者のことです。宇宙生命として存在していて、完全なものしか創りません。

今人類を直接指導しているのは、創造主とそれに近い、超高級意識体であるモーゼ、釈迦、イエス、聖ヨハネ等の意識体です。

シャンバラの会議体の21世紀スタート時のメンバーは33名。

肉体人間は3名（知花敏彦氏、インドのサイババ、アメリカボストン市の女性）、リーダー格は知花敏彦氏です。この3名は幽体離脱してこの会議に参加しています。

議長は創造主。30名のメンバーは高級意識体です。リーダーはモーゼ、釈迦、イエスの意識体となっています。

会議の開催の場所は日本の富山県糸魚川の黒姫山。ここはピラミッドで、この地下室で必要に応じて開催されています。

シャンバラの世界から派遣された指導者は以下の方々です。

時期不明 サナートクマラ：鞍馬山の魔王尊、毘沙門天

3500年前 日本の古神道を広める：天照、スサノオ、月読神

3200年前 モーゼ 十戒を受け、旧約聖書を残す

2500年前 釈迦 法と慈悲を説き、仏教を残す

2000年前 イエス 愛を説き、新約聖書を残す

20世紀 地球に12名を派遣 内役割を果たした人 6名のみ。

12名中4名は日本人、内2名は沖縄の人。知花敏彦氏（過去生はトート神、釈迦、聖ヨハネ 12名のリーダー格）、上江州義秀氏（過去生はモーゼ）。その他にすけやすよしき助安由吉氏、松下幸之助氏。

天上界では、21世紀のリーダーは日本国、日本民族となり、沖縄が心の文明の世界の中心地となるというプログラムが作成されて、実行されているのです。

知花氏も上江州氏もボリビアとアルゼンチンで生活していましたが、2人とも日本・沖縄に呼び戻されているのです。

現代日本でトート神、釈迦、聖ヨハネの過去生を持つ覚者知花氏とモーゼの過去生を持つ覚者上江州氏が日本人として、沖縄出身者として人々に宇宙の真理を説いています。このことは、いかに天上界、シャンバラの世界が日本民族を、そして沖縄を重要視しているかという証拠になります。

沖縄を琉球と呼びます。地球は回転する球体、流れる球。だから琉球と名付けられているのです。つまり沖縄は世界ということになります。地球のヘソ……火はセ斎

場^{フアーウタキ}御嶽で、水は古宇^{こうり}利島。火と水でカミとなる仕組みなのです。

さらに沖縄は勾玉^{まがたま}でもあります。世界から様々な波動が押し寄せ、沖縄でその波動を浄化して世界へ放射している働きをしているのです。

今人類を指導している超高級意識体のリーダーはモーゼ、そして釈迦とイエスと聖ヨハネです。これらの方々の意識体が中核となって活躍しているのです。

モーゼもイエスも当時の肉体を持った人間として会議体のメンバーでした。幽体離脱して日本の会議に参加していたのです。これが日本列島にモーゼとイエス、及び聖ヨハネの訪れた聖地が数多く存在している理由です。

権現^{ごんげん}と稲荷神社がその聖地にあたります。蔵王、熊野、御嶽、広峰や太郎坊宮、火祭りを催事する神社仏閣がこれに該当します。鞍馬山、秋葉山等の聖地もそうなのです。

聖ヨハネも塩土翁として祀られています（このことについては後の章で詳述します）。

モーゼもイエスも肉体を消して日本を離れたから、日本で死んだと思われ、日

本で墓が残っています。モーゼの墓は能登半島に、イエスの墓は青森にあるのです。

神の世界への7ヶ所の入口と、チャクラに相当する7ヶ所のパワースポットが地球上に存在しています。世界のシャンバラです。

シャンバラとは神の世界への入口のことで、その本部はヒマラヤのローチェ山の地下にあります。

日本では沖縄の斎場御嶽がこれに相当します。

シャンバラの会議の開催地は、先ほど述べた日本の富山県の糸魚川にある黒姫山の地下となります。黒姫山は人工のピラミッドなのです。

地球のチャクラの7ヶ所のうち2ヶ所が日本にあり、その頭頂が富士山です。

シャンバラの世界が富士山を守っているのです。もう1ヶ所、みぞおち（太陽業）にあたる場所が屋久島です。ここに樹令8千年の縄文屋久杉が存在します。

シャンバラの会議の開催地は、富士山と八ヶ岳（権現岳と赤岳の間）を結ぶ

ンバラの入口 つの聖地



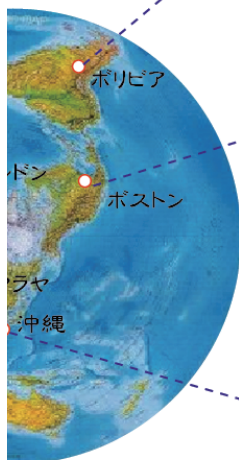
バラ本部



ローチェ



ボリビア
サマイパタ



見た世界地図



アメリカ ボストン郊外
ストーンヘンジ



沖縄
斎場御嶽





世界のシャ 世界の7

シャ



イギリス ロンドン郊外
ストーンヘンジ



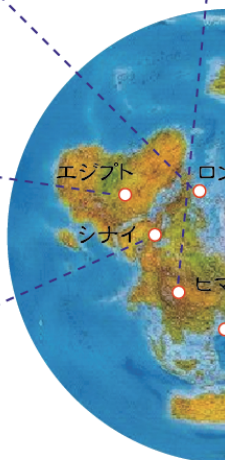
ヒマラヤ



エジプト
ギザのピラミッド



モーゼが神に祈った
シナイ セルバール山



北極上空から





チャクラの場所

第6チャクラ



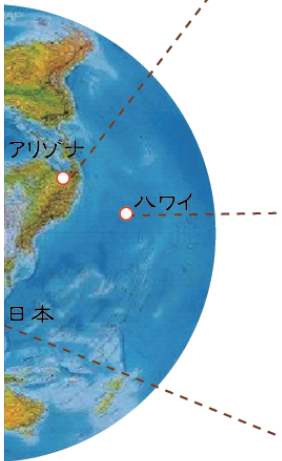
ホピ、ナバホの居留地

第1チャクラ



マウイ島

第3チャクラ



アリゾナ

ハワイ

日本

した世界地図



屋久島

- エネルギーの受け口 : マウイ島 (ハワイ) ムー文明のパワーが一番濃い
- 運動の根本エネルギー : バリ島
- エネルギー、念力 : 屋久島 地球のへそ、8000年の縄文杉
- 主要。ハートセンター : ヒマラヤ 純白のエネルギー
- 知恵 : 大ピラミッド 創造と知恵のエネルギースポット
- 人を見抜く : ホピ ナバホの居留地、ホピの予言は正しい予言
- 交流、一体化 : 富士山 人類総仕上げ





地球上の7つの

第7チャクラ



富士山

第5チャクラ



ギザのピラミッド

第4チャクラ

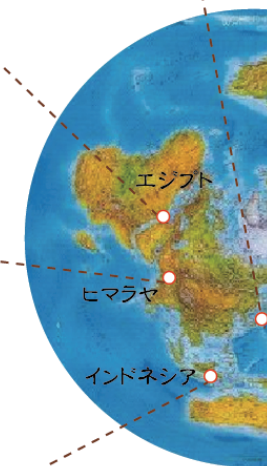


ヒマラヤ

第2チャクラ



バリ島



北極上空から見

1. 尾髄骨 : 基本エ
2. 丹田 : 人間性
3. みぞおち : 想念エ
4. ハート : 最も重
5. 咽 : 創造、
6. 眉間 : 先見性
7. 頭頂 : 神との





チベット カイラス山 チベット語でカイラスは水晶



日本のカイラス山 明星山 富山県糸魚川 ひすいの産地 Photo:Keru6006



黒姫山 ピラミッド この地下がシャンバラの会議の開催地 山頂に権現神社



黒姫山山頂 権現神社



京都八神社 権現大師禪十 モーゼが権現
十戒を授かったから十禪

先に聖地が存在しているのです。富山県糸魚川の黒姫山の山頂に権現神社を祀っています。これはモーゼを祀る人工のピラミッドです。この地下でシャンバラの会議が開催されるわけです。

毎回超高級意識体が黒姫山に集まるわけですから、ここが世界最高の聖地となります。

天上界は告げています。今の宗教は阿片あへんよりも恐ろしいと。師の説いた真理をきちんと理解している弟子（僧侶、牧師）は先ずいないのです。

人を殺せという宗教は完全に間違いです。

聖書は正しさが30%くらいしか伝わっていないと言われています。それはなん回も書き換えられてしまっているからです。これからギザの秘密の地下室に保管されている旧約聖書と新約聖書の原典が世に出ると言われているのです。もうすぐのタイミングと考えられています。

近々世界の宗教、科学、思想は宇宙の法則、宇宙の科学に統一され、集約され

1つにまとまるようになります。そうすると争いがなくなるのです。

世界はワンワールドとなり、国境がなくなる。それに伴って紛争、争い、戦争がなくなり、上下の差がなくなり、難民問題が解決します。

天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずの思想が実現することとなります。人種問題がなくなる。貧富の差がなくなる。これがシャンバラの世界が描くユートピア社会の青写真です。設計図は既に出来上がっているのです。この設計上、必要のないもの、邪魔になるものが消えてゆく。それが天上界のプログラムです。その創造のためには破壊が必要です。創造的破壊、破壊（マイナス極）と創造（プラス極）、この2極が完全調和して1極になる世界がもうすでに始まっているのです。

この完全調和のことを、釈迦は慈悲と言い、イエスは愛と説いています。両刃の剣となります。仏教もキリスト教もが基本のパターンです。

昔の日本の剣は両刃の剣であり対極が1極で完全調和を意味していたのです。